

学校だより



草花小「タートル」

令和 7 年 10 月 31 日
あきる野市立草花小学校
校長 永曾 久美子



11 月 号

「心にひびくあいさつは 平和な未来につながるよ」 ～草花小学校の挨拶標語と挨拶運動～

校長 永曾 久美子

木々の葉が色づき、肌寒い日々が続くようになった今日この頃ですが、草花小学校の昇降口には寒さを吹き飛ばすかのように大きな声で「おはようございます。」の挨拶が響き渡りました。10月27日から31日まで、代表委員会主催で挨拶運動が行われたのです。特に今年度の挨拶運動は、開校50周年を記念した特別なものとして、子供たちは力を入れて行いました。草花小学校の名にふさわしい濃い緑色の法被（はっぴ）を着込み、1学期に投票で決まった挨拶標語上位の

「心にひびくあいさつは 平和な未来につながるよ」

「50周年も元気に明るいあいさつを！」

「だれにでも元気にあいさつは 幸せの言葉」

がプリントされたのぼり旗を立て、登校してくる子供たちと挨拶を交わしました。また、今年度は小中一貫校の御堂中学校の生徒と引率の先生も駆けつけてくださり、一緒に挨拶運動を行い、大いに盛り上がりました。

日々の生活の中で交わされる挨拶は単なる形式的な言葉ではありません。そこには相手を認め、尊重する気持ち、相手との関係を良好に築いていこうとする温かい思いが込められています。挨拶運動で発せられる「おはようございます」の短い言葉には、相手への気遣い、共に同じ学校で学び、成長しようとする温かい気持ち、今日も会えた喜びが込められているのではないのでしょうか。そのように温かい気持ちが込められた挨拶は、受け取る側の心も温め、互いに前向きな気持ちになっていきます。

子供たちのつくった標語の中に出てくる「心にひびくあいさつ」「明るいあいさつ」「元気にあいさつ」の言葉からは、挨拶によって、他者とのコミュニケーションを円滑にしていこうとする思いが伝わってきます。また、「平和な未来につながるよ」の言葉からは、家庭や地域、学校といった身近な環境で互いを尊重し、優しさと温かさをもった言葉をかけ合う習慣をつけることは「身近な平和」「小さな平和」を積み重ねることであり、それが大きくなれば、未来を平和な世界にすることができるであろう、という思いが伝わってきます。

子供たちが、「挨拶」という幸せの言葉を相手に投げかけ、投げ返してもらうことで、「自分たちはつながっている」「お互いを大切にしている」と感じられる学校でありたいものです。挨拶の素晴らしさに小学生の子供たちが気付き、その小さな気づきが、未来の世界を変える魔法になるかもしれません。

開校50周年という記念の年の取組ではありますが、今年度のみのイベントにすることなく、未来を担う子供たちが挨拶を通じて平和な未来を創造していくことをこれからも願っています。



11月の行事予定



日	曜	予 定	日	曜	予 定
1	土	ふれあい月間始	18	火	社会科見学(4年)
3	月	文化の日	19	水	午前授業 SC
4	火	全校朝会	20	木	児童集会
5	水	SC	21	金	午前授業
7	金	午前授業(1~5年) 開校50周年記念式典	23	日	勤労感謝の日
10	月	安全指導 委員会	24	月	振替休日
12	水	避難訓練 SC	25	火	生活指導朝会
13	木	児童集会 遠足(1年) 町探険(2年) 野鳥観察(3年)	26	水	午前授業(ふたば学級4~6年研究 授業) SC
14	金	おもいやりの日	27	木	縦割り集会
17	月	全校朝会 クラブ(3年見学)	30	日	ふれあい月間終



笑顔と学びの 体験活動プロジェクト



9月30日(木)に、千葉ロッテマリーンズ等で活躍し、北京オリンピックに日本代表として出場したプロ野球選手の成瀬善久選手をお招きし、講演や代表の子たちとのキャッチボールを行っていただきました。子どもたちの質問に答え、やったことを振り返る大切さなど、普段の心構えにつながるお話をたくさんしていただきました。

ハケ岳移動教室

10月16(木)・17日(金)、5年生がハケ岳移動教室に行きました。5年生として初めての宿泊を伴う行事でしたが、全行程を無事元気に終えることができました。

